

日本学術会議 第3回材料工学委員会シンポジウム 一般公開

材料の創製と高機能化を極める

日時 平成25年11月1日(金) 13時30分から17時30分(受付13時より)

会場 日本学術会議 講堂(東京都港区六本木7-22-34)

開催趣旨

材料の進化は新しい科学技術や産業発展の基盤となり、人類の繁栄と社会進歩に貢献し、長い歴史の中で材料と社会は常に相補的・相乗的な関係を持ちながら共に進化し今日に至っています。

学術分野として材料工学は、主に物理、化学さらに生物科学も含む基礎科学を融合した材料独自の専門分野を持ちながら、様々な工学分野を横断する基盤となる分野と言えます。さらに経済的、社会的視点を踏まえすと材料工学が扱う範囲は極めて多岐にわたります。そこで本委員会は、材料工学とは、材料の創製と高機能化を追求し極めようとする工学であると定義し、今回のシンポジウムに「材料の創製と高機能化を極める」と題し進化し続ける材料工学の技術や研究、また現状について御講演戴きます。

プログラム

13:30 - 14:15

ナノマテリアルから広がる医療イノベーション - 高分子ミセルによるがんの標的治療 -

東京大学大学院工学系研究科 教授 片岡一則

14:15 - 15:00

シリコンフォトニクス - 電子と光の走る集積回路を目指して -

東京大学大学院工学系研究科 教授 和田一実

15:00 - 15:45

永久磁石材料の高性能化を極める

インターメタリックス株式会社 最高技術顧問 佐川真人

(15:45 - 16:00 休憩)

16:00 - 16:45

長周期積層構造型マグネシウム合金による構造材料イノベーション

熊本大学先進マグネシウム国際研究センター長、教授 河村能人

16:45 - 17:30

新日鐵住金のものづくりについて - 新日鐵住金のMOT -

新日鐵住金株式会社 代表取締役社長 友野 宏

申込要領

以下東京大学生産技術研究所 前田研究室のホームページよりお申込みください。

入場無料、定員300名になり次第締切りとさせていただきます。

<http://maedam.iis.u-tokyo.ac.jp/>



主催 日本学術会議 材料工学委員会、材料工学将来展開分科会

共催 材料連合協議会、全国大学材料関係教室協議会、材料工学連合講演会、日本金属学会、日本鉄鋼協会

後援 資源・素材学会、日本材料学会、日本セラミックス協会、日本バイオマテリアル学会、日本MRS